

お茶の水女子大学シンポジウム

女性支援政策の現状と課題——DV対策を中心に

日時 平成22年12月19日（日）13時～17時

会場 お茶の水女子大学 大学本館306室（講義室）

プログラム

1. 本調査研究班からの中間報告（3つの視点から）

戒能 民江（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授・理事）

湯澤 直美（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

堀 千鶴子（城西国際大学福祉総合学部准教授）

吉田 容子（立命館大学法科大学院教授・弁護士）

齋藤 百合子（明治学院大学国際学部准教授）

2. 先進自治体からのDV被害者支援施策の報告（現状と問題点）

岡山市：岡山市市民局男女共同参画課市民局次長 安富 緑氏

盛岡市：盛岡市市民部男女参画国際課主査 佐々木 一憲氏

鳥取県：鳥取県福祉保健部子育て支援総室長 西尾 浩一氏

埼玉県：埼玉県県民生活部男女共同参画課長 山崎 仁枝氏

3. 民間団体からの報告

全国女性シェルターネット共同代表 近藤 恵子氏

4. 多文化共生と外国籍女性支援

日本福祉大学社会福祉学部教授 石河 久美子氏

5. パネルディスカッション

「女性支援政策の現状と課題——DV対策を中心に」

【参加方法】

当日、直接本学までお越しください。

【アクセス】

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅
または有楽町線「護国寺」駅より各徒歩8分

※当日、南門（護国寺駅側）は閉門しております。
正門（茗荷谷駅側）よりお入りください。

【お問い合わせ】

お茶の水女子大学 戒能民江研究室
FAX 03-5978-5789



本シンポジウムは、平成22年度厚生労働科学研究費（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
「DV対策など、女性支援施策の効果的展開に関する調査研究」による事業の一環として実施するものです。